

第17回キャラバン研修会 開催報告書

【開催概要とプログラムの全体像】

「食べる喜び」を支えるためのポジショニング技術の伝承

1. 開催概要

- 日時：2025年12月20日（土）13:00～16:30
- 場所：聖路加国際大学 シミュレーションセンター
- 主催：一般社団法人 日本看護技術学会 技術成果検討委員会
- 企画：食事ケア班 & ポジショニング班（褥瘡予防ケア） 合同企画
- テーマ：安全・安楽で誤嚥を防ぐ 食事のポジショニング技術伝承
- 参加者：21名（看護師、他職種、教育関係者など）

2. 合同開催のねらい

今回の研修は、当学会の「食事ケア：食べる喜びを支え合う技術班」と「ポジショニング班」が初めてタッグを組んだ記念すべき回となりました。食事における姿勢調整を、嚥下機能の観点だけでなく、褥瘡予防や安楽といった全身管理の視点から多角的に捉え直しました

POTTプログラムを共通言語として、臨床・教育の各現場で技術伝承していくことを主眼に置いて研修を進めていきました。

3. プログラム内容

講義：「誤嚥を防ぐポジショニングと食事ケア」講師：迫田 綾子 氏

デモンストレーション：

ベッド上ポジショニング（30度・60度）の基本

不良姿勢がもたらす食事摂取への弊害（体験型デモ）

グループ演習：

スキルチェックシートを用いた相互評価

ベッドおよび車いすでのポジショニングと食事介助の実践

振り返り・全体共有：明日から実践・伝導するためのアクションプラン策定



【研修の重点ポイントと演習の様子】

4. 研修の重要なポイント

講義とデモンストレーションを通じて、特に以下の3点を強調しました。

- 「1mmの看護」が生む差：クッション一つ、頸部角度のわずか数度の違いが、誤嚥リスクの軽減と「飲み込みやすさ」に直結することを、理論と感覚の両面から学びました。
- 体験を通じた内省：受講者自身が「不適切な姿勢」で食事を摂ることで、患者さんが抱える不安や身体的苦痛を自分事として捉え、ケアの根拠を再確認しました。

「型」の言語化と標準化：暗黙知になりがちなポジショニング技術を、スキルチェックシート（Ver.4）を用いて可視化。誰がやっても同じ質のケアが提供できる「技術の標準化」の重要性を共有しました。

5. グループ演習：シミュレーションの様子

シミュレーションセンターの特性を活かし、より実践に近い形での演習を行いました。

- ベッドグループ（A～C）：30度リクライニングでの全介助、60度での自力摂取を想定。足底支持や「背抜き・足抜き」による圧の解放、頸部4横指の確認などを徹底しました。

車いすグループ（D～F）：骨盤の安定とテーブルの高さ、腹部との距離（握りこぶし1個分）など、自立支援に繋がる細やかな調整を実践しました。



【参加者の気づきとファシリテーターの総括】

6. 参加者の気づき・明日から実践すること（抜粋）

アンケートからは、これまでの自身のケアを見直す深い気づきが多く寄せられました。

・ 受講者の声（学びと気づき）：

- 「『やっているつもり』になっていた。不良姿勢での食事体験は想像以上に苦しく、患者さんへの申し訳なさを感じた。」
- 「褥瘡予防の視点と食事の視点が繋がった。背抜き一つでこれほど楽になるとは驚きだった。」
- 「統一された評価指標があることで、自信を持ってスタッフに指導できると感じた。」

・ 明日から取り組むこと：

- 「まずは病棟に戻って、スタッフ同士で今回学んだポジショニングやり合ってみたい。」
- 「チェックリストを活用し、チームで共通の『型』を作りたい。」
- 「患者さんに触れるとき、その1mm、1秒の丁寧さを大切にしたい。」

7. ファシリテーターのコメント（要約）

今回の合同開催は、ファシリテーターにとっても大きな学びとなりました。午前中の打ち合わせで各班の視点を擦り合わせたことで、受講者に対し「多角的な根拠」に基づいた一貫性のある指導ができました。

「種まきから発芽、そして拡大へ」。受講者の皆さんが、それぞれの職場でこの技術を「伝承」していくリーダーとなることを確信しています。一人ひとりの「食べる喜び」を支えるために、この草の根の活動をさらに広げていければ幸いです。

8. おわりに

参加者の皆様、ならびに関係各位の多大なるご協力に感謝申し上げます。



受講者のアンケート結果

1. 貴方の職種を教えてください

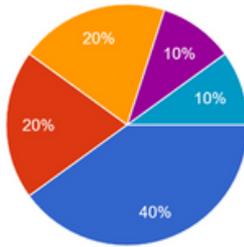
10件の回答



- 看護師
- 保健師
- 助産師

2. 貴方の職場を種類を教えてください。

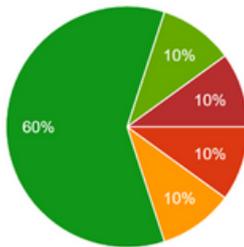
10件の回答



- 教育機関 (看護大学・看護専門学校等)
- 病院・クリニック・診療所
- 在宅関連 (訪問看護事業所・介護施設・他)
- 行政関連
- メーカー
- POTTプロジェクト

3. 貴方の住んでいる地域を教えてください。

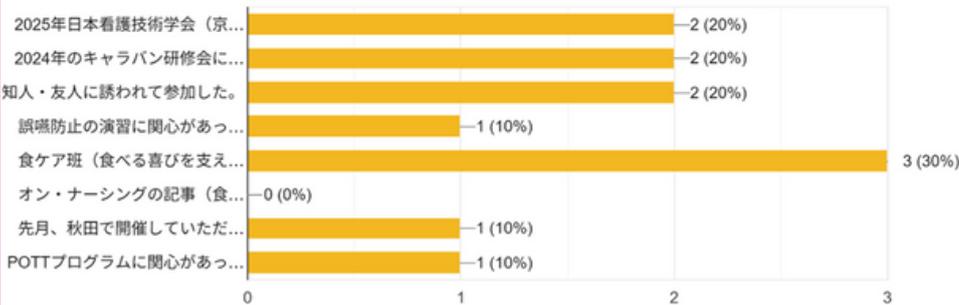
10件の回答



- 北海道
- 東北 (青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島)
- 中部 (新潟・長野・山梨・静岡・富山...)
- 関東 (栃木・茨木・群馬・埼玉・千葉...)
- 近畿 (京都・滋賀・三重・奈良・和歌...)
- 中国・四国 (鳥取・岡山・広島・島根...)
- 九州 (福岡・佐賀・長崎・大分・熊本...)
- 中部
- 中国・四国

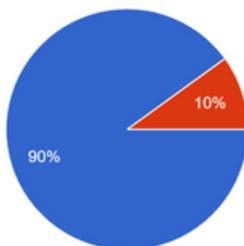
4. 令和7年度 食事ケア班キャラバン研修会に参加されましたきっかけを教えてください。

10件の回答



5. キャラバン研修会への感想をお聞かせください。

10件の回答



- とても良かった
- 良かった
- 普通
- どちらでもない

